



## 中野 晴啓からのメッセージ

あけましておめでとうございます。

2024年を振り返ると、マーケットが示す年末の結果としては、米国とその他に極度な二極化となった世界経済だったと言えます。とりわけ年後半は株式市場でそれがより顕著となり、米株式市場は最高値圏に在る一方で、日欧共に置いてきぼりを食って明暗を分けたかたちで新年を迎えました。

さて市場では今の共通認識が「米国例外主義」。景気浮揚がおぼつかない欧州・日本、そして中国などの対極が、ハイテク・ITサービス事業で世界の覇権を制した米国一強を称えるかの如き、一種のジャーゴンでしょうか。

マーケットコンセンサスは、インフレ鎮静を所与として景気減速も起きない「ノーランディング」までも織り込んでいる程、米国経済への楽観ムードが年末にかけて再び高まりました。

これまでマーケットに30数年関わって来た経験知から申すなら、一方向にモメンタムが続くことはなく、極度に偏重したトレンドはいつも逆方向に収れんして来たという歴史的事実を忘れぬことです。新年はいきなりトランプ新政権発足から始まります。いつ大きな揺れが起きても決してたじろがず、別次元にある長期目線に立ち返る胆力が不可欠な2025年でしょう。泰然自若「なかの号」と今年もどうぞ一緒くださいませ！



なかのアセットマネジメント株式会社  
代表取締役社長 中野 晴啓

## ポートフォリオマネージャー居林 通より



なかの世界成長ファンド  
ポートフォリオマネージャー  
居林 通

なかの世界成長ファンドにとってのはじめの年、2024年が終わりました。残念ながら、期待通りとは言えないような成績で終わりました。

しかし、世界を見渡せば25年は今までとは違う一年になるのではないかと考えています。というのは、23年と24年と過去2年がアメリカ株式が大きく上昇し、それにつられるかのように世界の投資資金も米国中心に流れた過去2年間だったからです。25年1月にはトランプ政権が再度誕生します。と同時に、中国での大規模な景気対策、インド経済の拡大、アメリカの金融緩和政策が変化する可能性、などが見えてきます。

24年の後半には米国の大手ハイテク企業の株価が大きく上がり、それ以外の世界の優良銘柄の株価は取り残されたように見えます。長期投資では、投資先企業が正しい成長戦略を実行していればそれが顕在化するまで待つことができます。株式市場はその仕組み上、一時的な動きであっても株価に反映してしまうことがあります。

一時的な株価の動きに惑わされることなく、優良企業の持つ「強い競争力」と「高い成長力」が損なわれていないかを注視しつつ、2025年もなかの世界成長ファンドは世界に分散投資を行ってゆきたいと考えています。

※ コメントの内容は過去の市場環境、運用実績および投資行動であり、将来の市場動向、運用成果等を示唆・保証するものではありません。  
※ 巻末記載の「当資料をご利用にあたっての注意事項等」を必ずお読みください。

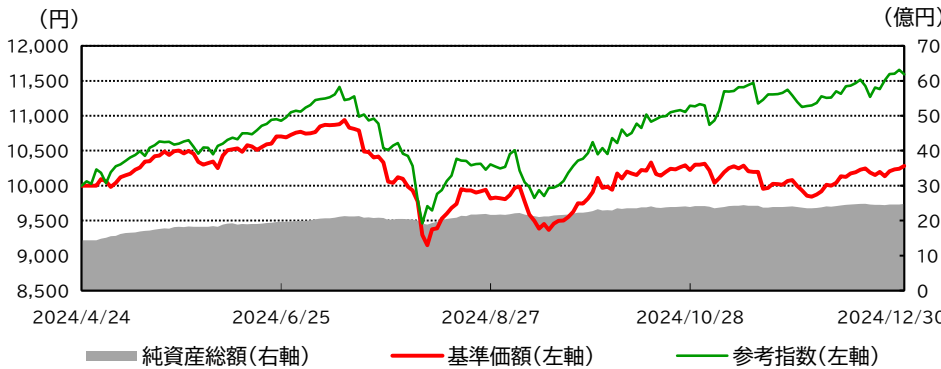
お申込みの際は、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご確認のうえ、ご自身でご判断下さい。

設定・運用は **なかのアセットマネジメント株式会社**  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第3406号  
加入協会:一般社団法人投資信託協会  
ホームページ:<https://nakano-am.co.jp/>



12月は一時、米国株が50年ぶりに10営業日連続で下落するという場面がありましたが、その後全体としては上昇に転じ、基準価額も安定した動きを示しました。一方で、トランプ大統領の新政策に期待した「トランプトレード」によって株価が期待値を織り込んでいるようにも見えますので、引き続き優良成長株に分散投資を続けてゆきたいと考えます。(居林 通)

## ●基準価額及び純資産総額の推移(2024年12月末現在)



基準価額	10,284円
純資産総額	24億円

※ 基準価額は信託報酬控除後の価額です。  
 ※ 参考指数は「MSCI オール・カンントリー・ワールド・インデックス(配当込み・円換算ベース)」であり、設定日の値を10,000円として計算しています。MSCI オール・カンントリー・ワールド・インデックス(配当込み・ドルベース)をもとに、委託会社で円換算しています。  
 ※ 純資産総額は、単位未滿を切り捨てて表示しています。

## ●騰落率

	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	5年	設定来
当ファンド	3.5%	1.7%	-4.4%	-	-	-	2.8%
参考指数	4.2%	10.9%	4.7%	-	-	-	15.9%

※ 基準価額の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

## ●資産の組入比率

なかの世界成長マザーファンド	96.3%
現金等	3.7%
合計	100.0%

## ●分配金実績(一万口当たり、税引前)

決算期	分配金	設定来合計
-	-	-
-	-	-
-	-	-

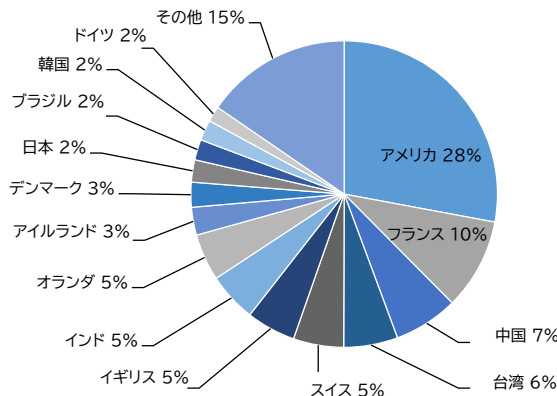
※ 運用状況により分配金額が変わる場合、または分配金が支払われない場合があります。

## ●基準価額の変動要因(前月末比)

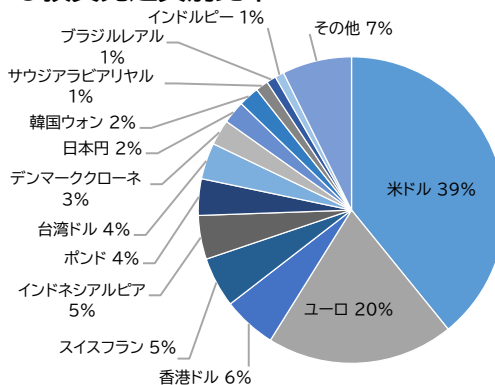
基準価額の変動額	352円
ティー・ロウ・プライス・ファンズ SICAV-グローバル・インパクト・エクイティ・ファンド(クラスS、円建て)	-1円
コムジエスト世界株式ファンド(適格機関投資家限定)	143円
コムジエスト・ヨーロッパ・ファンド90(適格機関投資家限定)	52円
アライアンス・バーンスタイン・エマージング成長株ファンド(適格機関投資家専用)	143円
アライアンス・バーンスタイン SICAV-グローバル・グロース・ポートフォリオ	14円
信託報酬・その他	1円

※ 上記はあくまで概算値であり、その正確性、完全性を保証するものではありません。  
 ※ 項目ごとに円未滿は四捨五入しており、合計が基準価額の変動と一致しない場合があります。

## ●国・地域別株式比率



## ●投資先通貨別比率



※ 「国・地域別株式比率」、「通貨別比率」は2024年11月29日のデータをもとに12月30日現在の投資ウエイトで当社が計算しております。  
 ※ その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

※ 上記は過去の実績であり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。  
 ※ 巻末記載の「当資料をご利用にあたっての注意事項等」を必ずお読みください。

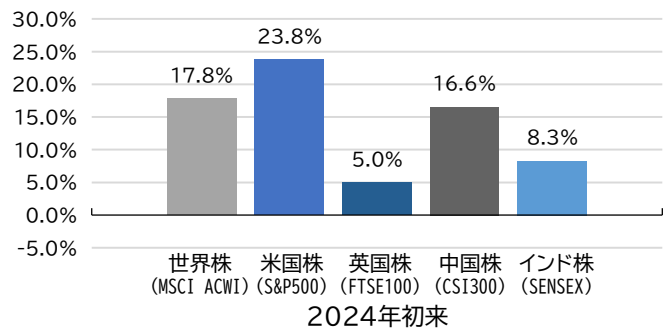
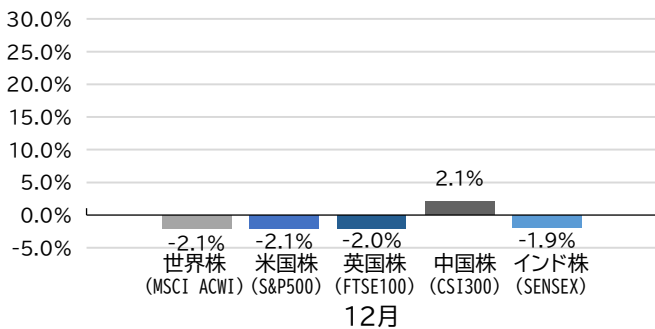


## ●組入ファンドの概要(なかの世界成長マザーファンド)

順位	銘柄名	運用会社	組入比率
		ファンド概要	
1	コムジエスト世界株式ファンド (適格機関投資家限定)	コムジエスト・アセットマネジメント株式会社	31.7%
		世界の企業を対象に徹底したファンダメンタル分析に基づいて、高い利益成長が期待される企業を中心に、集中投資します。	
2	アライアンス・バーンスタイン・エマージング成長株ファンド(適格機関投資家専用)	アライアンス・バーンスタイン株式会社	25.9%
		新興国の企業を中心に投資を行います。景気サイクルによる利益成長ではなく、構造的な成長機会を重視しています。	
3	コムジエスト・ヨーロッパ・ファンド90 (適格機関投資家限定)	コムジエスト・アセットマネジメント株式会社	21.8%
		主としてヨーロッパの企業を対象に、高い利益成長が期待される企業を中心に個別銘柄を選定し、信託財産の成長を目指します。	
4	ティー・ロウ・プライス・ファンズ SICAV ーグローバル・インパクト・エクイティ・ファンド(クラスS、円建て)	ティー・ロウ・プライス・インターナショナル・リミテッド	11.8%
		主として海外の社会と環境にプラスになる事業を行い、株価が将来にわたって上昇すると期待される企業に投資するファンドです。	
5	アライアンス・バーンスタイン SICAV ーグローバル・グロース・ポートフォリオ	アライアンス・バーンスタイン・エル・ピー	8.4%
		主として新興国を含む世界各国の株式等に投資します。長期で優れた利益成長を達成する可能性が高い企業に厳選投資します。	
	現金等		0.4%

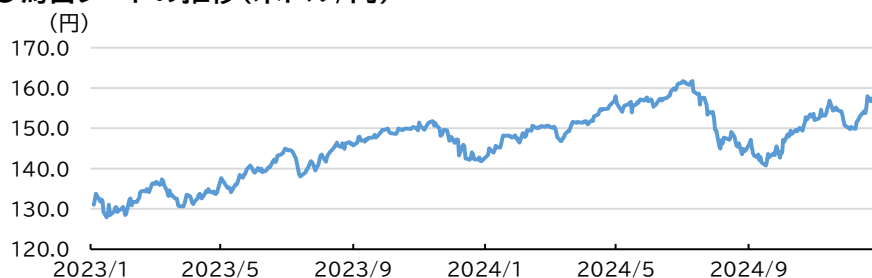
### <ご参考>

#### ●地域の代表的な株式指数の騰落率



※ 上記の指数は現地通貨ベースです。

#### ●為替レートの推移(米ドル/円)



※ 上記は過去の実績であり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。  
 ※ 巻末記載の「当資料をご利用にあたっての注意事項等」を必ずお読みください。



## ●各ファンドの組入上位5銘柄

## コムジェスト世界株式ファンド(適格機関投資家限定)

No.	銘柄名	国・地域	業種	組入比率	過去3ヶ月リターン
1	マイクロソフト	米国	情報技術	7.6%	-1.1%
2	台湾セミコンダクター(TSMC)	台湾	情報技術	6.3%	14.3%
3	イーライリリー	米国	ヘルスケア	5.4%	-12.5%
4	ASMLホールディング	オランダ	情報技術	5.0%	-9.7%
5	ビザ	米国	金融	4.7%	14.9%

## アライアンス・バーンスタイン・エマージング成長株ファンド(適格機関投資家専用)

No.	銘柄名	国・地域	業種	組入比率	過去3ヶ月リターン
1	台湾セミコンダクター	台湾	情報技術	8.9%	14.3%
2	テンセント・ホールディングス	中国	コミュニケーション・サービス	6.4%	-5.8%
3	メイトウアン	中国	一般消費財・サービス	3.4%	-11.2%
4	SKハイニクス	韓国	情報技術	3.1%	-0.4%
5	メディア・テック	台湾	情報技術	2.9%	20.9%

## コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド90(適格機関投資家限定)

No.	銘柄名	国・地域	業種	組入比率	過去3ヶ月リターン
1	ノボ・ノルディスク	デンマーク	ヘルスケア	7.1%	-20.7%
2	ASMLホールディング	オランダ	情報技術	6.7%	-9.7%
3	エシロールルックスオティカ	フランス	ヘルスケア	5.2%	9.3%
4	シュナイダーエレクトリック	フランス	資本財・サービス	4.9%	1.4%
5	アルコン	スイス	ヘルスケア	4.2%	-8.8%

## ティー・ロウ・プライス・ファンズ SICAVーグローバル・インパクト・エクイティ・ファンド(クラスS、円建て)

No.	銘柄名	国・地域	業種	組入比率	過去3ヶ月リターン
1	Eli Lilly	米国	ヘルスケア	3.2%	-12.5%
2	Linde	米国	素材	3.1%	-12.1%
3	Roper Technologies	米国	情報技術	2.7%	-6.4%
4	Danaher	米国	ヘルスケア	2.5%	-17.3%
5	Synopsys	米国	情報技術	2.5%	-3.9%

## アライアンス・バーンスタイン SICAVーグローバル・グロース・ポートフォリオ

No.	銘柄名	国・地域	業種	組入比率	過去3ヶ月リターン
1	Amazon.com, Inc.	米国	一般消費財・サービス	5.2%	18.8%
2	Microsoft Corp.	米国	情報技術	4.7%	-1.1%
3	Visa, Inc.	米国	金融	3.7%	14.9%
4	Sea Ltd.	シンガポール	コミュニケーション・サービス	3.6%	14.0%
5	ASML Holding NV	オランダ	情報技術	3.3%	-9.7%

※ 原則、各運用会社からのデータを基に作成  
 ※ 上記はデータが入手できる2024年11月29日現在の情報です。  
 ※ 「銘柄名」および「国・地域」は当社の判断で表示しています。  
 ※ 「業種」はGICS(世界産業分類基準)によります。  
 ※ 組入比率は、各ファンドの純資産総額を100とした場合の比率です。  
 ※ 「過去3ヶ月リターン」は、現地通貨ベースで表示しています。  
 ※ 上記は過去の実績であり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。  
 ※ 巻末記載の「当資料をご利用にあたっての注意事項等」を必ずお読みください。



## ～コラム～ 人口ピラミッドから見た世界

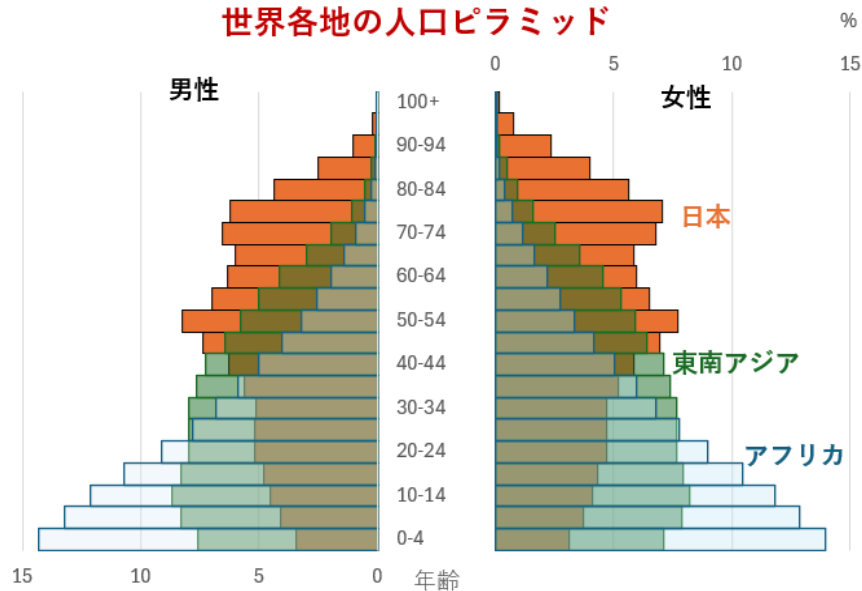
なかの世界成長ファンドは、長期的に成長する企業を厳選して投資するファンドです。では、どのようにして「成長する企業」を選定するのでしょうか？ それは、「追い風」が吹いている企業を選んで投資するということです。長期にわたって追い風になるトレンドというのは幾つか考えられますが、人口の変化はその中でも最も予想しやすく、かつインパクトが大きいものと言えるでしょう。

もちろん、AIをはじめとする技術革新であるとか、都市化のトレンドであるとか、さらには健康志向のトレンドなども長期で大きな需要が見込まれるトレンドです。こうしたトレンド(追い風)の中にある企業からさらに企業の質を考えて投資するというのが多くの場合の投資プロセスとなります。さて、下の図は日本と東南アジアとアフリカの人口ピラミッドですが、日本の人口ピラミッドと比較すると東南アジアのピラミッドがちょうど消費が多くなる年齢の人口が多いことがよくわかります。

さらに、アフリカの人口ピラミッドを見ると、あと10-15年すると消費が増加する地域であることがわかります。ということは、東南アジアの企業、そして将来的にはアフリカの企業に投資するのかということ、そうとは限りません。世界の様々な企業、例えば家電の企業や高級ブランド品の企業などが東南アジアや中東・アフリカの人口増加とそれに伴う経済成長から恩恵を受けると考えています。世界は一年間で7000万人の人口が増えています。新しい需要が発生するところが毎年あるはずです。その成長機会を捉えるように、なかの世界成長ファンドでは投資を続けてゆきたいと考えています。(居林 通)



### 世界各地の人口ピラミッド



出所: 国連のデータをもとになかのアセットマネジメントが作成

※ 上記は過去の実績であり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。  
※ 巻末記載の「当資料をご利用にあたっての注意事項等」を必ずお読みください。



## ●運用チームから

氏名	役職	コメント
 中野 晴啓	代表取締役社長 最高投資責任者 (CIO)	なかのアセットは運用開始から8カ月で新年を迎えましたが、ここに至るまで実にたくさんの方の激励とご支援をいただき感謝の念に堪えません。「なかの号」の本格長期投資は自身の人生を捧げる恩返しの旅でもあります。2025年は世界のマーケットが相当な荒れ模様となるでしょう。クオリティ&グロース企業への新たな仕込み機会も幾度となく訪れそうです。とは言え決して気負わず、「Take it easy!」マインドで虚心坦懐に長期的成果を育み、骨太運用の真価をお示してまいります。
 山本 潤	運用部長 兼 チーフポートフォリオ オマネジャー	インフレ傾向の中、価格支配力の高い企業の発掘に注力しています。米国の長期金利が高位で推移する状況は、一見、クオリティ・グロース投資に逆風に映るかもしれませんが、しかし、クオリティ・グロース株が割安に放置されている状況は、長期的な投資においてむしろ好機と捉えています。当社ではインフレを凌駕する成長力を持つ企業への投資を通じて、継続的に日本企業の成長を支える存在を目指し、チーム一丸で尽力してまいります。
 居林 通	運用副部長 兼 シニアポートフォリオ オマネジャー	世界市場におけるアメリカ株式市場の比率は今年も増加を続け、60%程度となっています。簡単に言えば、好調なアメリカ経済と上がり続ける株式市場に惹かれてさらに資金が流入するという構図に見えます。25年は、トランプ大統領の就任とともに株式市場の「変動率」は上昇するのではないかと考えています。その時こそ、アクティブ運用の腕の見せ所と考えています。
 菅 淑郎	シニアポートフォリオ オマネジャー 兼 シニアアナリスト	先日「キャピタルアロケーション」について検討を行い、様々な決算説明資料に記載されている「資本政策」や「成長投資と株主還元」などの方針を比較してみました。企業は成長機会に対し、内部留保を活用した設備投資や事業買収を優先し、自社株買いや配当などの株主還元は後順位となる傾向があります。この方針に対する投資家と企業の見方についてインターン生も交えて議論し、理論と実務の理解を深める有意義な時間となりました。
 佐藤 栄二	ポートフォリオオマネジャー 兼 シニアアナリスト	本年も「クオリティ・グロース投資」の投資哲学を基盤に、皆さまの期待にお応えすべく最善を尽くします。2025年は、不確実性が一層高まることが予想されますが、目先の変動に囚われることなく本質的な価値を見極める姿勢がより重要になる年と考えています。引き続き、現場での対話に立脚し「経営者の覚悟」や「組織カルチャーの強靭さ」といった「目に見えにくい価値」にも焦点を当て、企業の成長力を深く洞察してまいります。
 大月 天道	シニアアナリスト	新年あけましておめでとうございます。昨年は大変お世話になりました。今年も引き続き、医療機器や医薬品をはじめとしたヘルスケア領域や、半導体の製造工程で使われる材料を中心に、専門性を高めていきたいです。また、組み入れ銘柄の競争優位や成長性についても、なるべくわかりやすくお客様に解説できるよう努めますので、マンスリー運用報告セミナーにもお越しいただけると嬉しいです。今年も一年間よろしくお願いたします。
 谷 亜矢野	アナリスト	なかのアセットに入社して早くも一年が経過しました。たった一年ですが、とても充実していて三年くらい経ったような気がしています。特に毎月開催されるマンスリー運用報告会が印象に残っています。実際にお客様と顔を合わせてお話しする貴重な機会であり、明日からも頑張ろうと身が引き締まるきっかけになっています。2年目はお客様の心にさらに寄り添うことができるアナリストを目指します。本年もどうぞよろしくお願い致します。
 関口 耕大	アナリスト	直木賞受賞作『花のれん』をはじめ、『白い巨塔』『華麗なる一族』『不毛地帯』など今なお愛読者も多い小説家・山崎豊子さん。当時20代、新聞社勤務の彼女を作家の世界に導いたのは、17年先輩上司だった井上靖さんでした。「記者として筆の遅い私」に「山崎君は調査ものもいいねえ」と企画調査を宛てがい、受賞時には「おめでとう。橋は焼かれた」と退路を絶たせ激励したと自伝に伝わります。今年はこの言葉を胸に職分を全うします！







## ●なかのアセットメンバーより

氏名	役職もしくは所属	コメント
 津田 由理子	広報企画室	昨年4月に2本のファンドの運用をスタートしてから約8カ月が経過しました。資産総額は2本合わせて50億円、設立間もないこの会社のこのファンドに資金を投入し、健全な長期運用を支えてくださることに心から感謝いたします。これからも、地道に一步一步進み続け、本物の長期投資にこだわり続けてまいります。
 福田 隆	マーケティング部	100年前の1925年にラジオ放送が始まった日本。わたしたちもこのマンスリーレポートを通じて、ラジオのような身近で温もりのある情報発信に努めます。そして、皆さまからの期待や信頼を一つ一つ積み重ね、会社もファンドもより一層の厚みが増すよう、2025年も勇進して参ります！
 田淵 英一郎	常勤監査役	日本国の盛衰は40年周期を繰り返しています。1985年のプラザ合意が債権大国のピークで、それからの40年間はデフレ、政治混乱、企業競争力低下の低迷局面でした。最近のデフレ脱却、企業経営改革、株価高値更新の動きは、2025年を節目として次の発展・成長局面の到来を予感させます。
 房前 督明	なかのアセット ご意見番	去年は選挙の年でした。そしてことごとく与党が負けた印象です。リーダーが変われば政治も経済も変わると考えるべきでしょう。どのように変わるかはわかりませんが、変化の一年だとすれば、それに備えることも必要かもしれません。成長するものに、分散投資して、長期保有することを再確認してください。
 浅井 太郎	房前さんの丁稚	会社づくりから一年余りが経過しました。投資家の皆様にとって、当社の金融商品がより良いものと思って頂けるようになるよう、微力ながら尽くしていきたいと思っております。
 飯間 秀明	内部監査室	初めまして、去年10月から内部監査を担当しています。当社は設立して間もない若い会社です。現在、我々一丸となって会社やファンドのさらなる発展を目指して邁進中で、私もその一員として貢献できるよう努力したいと思います。我々の思いと夢が今年どのような形で実を結ぶのか楽しみです。
 西生 智久	マーケティング部	皆さま、明けましておめでとうございます。昨年は出来たてホヤホヤの2つのファンドをお届けいたしました。世間にはまだまだ知れ渡ってはいませんが、今年は日本全国、津々浦々、多くの方に私たちの存在を知ってもらおうと多種多様な企画を展開して参ります。どうぞよろしくお願ひいたします。
 荒川 孝希	管理部	新年あけましておめでとうございます。2024年はお陰様でファンドを無事にスタートさせることができました。2025年は管理部として皆さまに安心して運用を続けて頂けるよう一層堅固な体制を築くこと、そして長期投資を広めていけるよう各部署の後方支援をして参ります。本年もどうぞ宜しくお願ひ致します。

次のページへ続く →



## ●なかのアセットメンバーより

氏名	部署	コメント
 星野 茂	管理部	2人でNISAを始め毎月10万円ずつ15年積立し、その後35年間、運用だけをした場合、平均リターン8%と仮定すると資産は約10億円になります。 50年も待てないという方もいると思いますが次の世代に資産を引き継ぎ、投資を継続してもらうのも一手です。 このように未来を考えると楽しいですね。
 加藤 雅美	管理部	昨年は絶えず動きながら、先回りして壊し、新たに作り直すことを繰り返すような艱難辛苦の一年でした。 「艱難汝を玉にす」、逆境が人を賢く成長させるものかもしれません。 将来への意思としての計画を持ち、2025年は前へ前へ進んで行ければと思います。
 堀井 廣人	管理部	あけましておめでとうございます。 当社に入社してから1年が経過し、担当する領域が広がりました。 「役職員ひとりひとりが快適に働くための社内IT環境の整備」はまだまだ道半ばですので、昨年以上に注力することが今年の目標です。 本年もどうぞよろしく願い申し上げます。
 秋元 祐毅	マーケティング部	あけましておめでとうございます。 昨年は当社ファンドの運用が無事スタートし、新たな門出を迎えた年となりました。 2025年は、干支の【乙巳】が示すように、再生と変化を繰り返しながら成長し、「いい会社」と「いい人生」、「いい未来」をつくるという私たちの想いの実現に向けて、邁進してまいります。







## ●12月22日マンスリー運用報告会の様子



## なかのアセットマネジメント

### マンスリー運用報告会

当社運用チームより各ファンドの運用状況、ならびに企業調査内容を  
長期投資家の皆さまにお伝えする場として毎月開催しています。



12月22日(日)マンスリー運用報告会@茅場町を開催しました！  
今回は投資先企業である三井不動産 IR室長の内田さまをお招きしてセッションを行いました！  
これからも様々な企画を考えてまいりますので、どうぞご期待ください♪

#### 【プログラム】

1. 「なかの日本成長ファンド」について (山本 潤、佐藤 栄二)
2. 「なかの世界成長ファンド」について (居林 通、関口 耕大)
3. 三井不動産の経営方針について (三井不動産 内田さま)
4. 弊社運用チームからみた三井不動産さまについて (中野、山本、佐藤)
5. 三井不動産さまと弊社運用チームによる座談会 (三井不動産 内田さま、中野、山本、佐藤)

#### 【2025年1月のオススメセミナー】

13(祝)@新宿(東京都)  
19(日)@茅場町(東京都)  
25(土)@宇都宮(栃木県)

セミナースケジュールはこちら



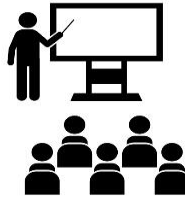
その他、随時開催のオンラインセミナーもございます♪ <https://nakano-am.co.jp/seminar/>



## ●CIO探訪記

～当社CIO(最高投資責任者)中野の見聞録～  
【今月の総移動距離 4,598km】

- 12/1 (日) 青森
- 12/5 (木) いわき
- 12/14(土) 徳島
- 12/14(土) 大阪
- 12/20(金) 福岡
- 12/21(土) 大阪



12月はセミナーや勉強会で青森といわき、その後は西日本へお邪魔してきました。

いわきでは勉強会の後、ハワイアンショーにご招待いただき、中旬に訪問した徳島県では徳島ラーメンを堪能、そして大阪、福岡へ。水都・大阪の天満橋から撮影した大川は今、冬景色が広がっていますが、春になると兩岸に広がる約4.2kmの桜並木の絶景を満喫できる名所です。

今年もたくさんのご支援ありがとうございました。引き続きなかのアセットをよろしく申し上げます。

### ～編集後記～

少し長めのお正月休みを経て、いよいよ2025年がスタートしました。

新年ということで、今回は運用部メンバーだけでなく、当社全メンバーからのご挨拶を掲載しております。昨年8月のマンスリーレポートでご紹介したメンバーに加え、新たな仲間が増えたことで、社内はさらに活気づいております。

2025年も引き続き、皆様にとって有益な情報をお届けできるよう、全力で邁進してまいります。(秋元 祐毅)



## ●ファンドの目的・特色

### ファンドの目的

主として、内外の投資信託への投資を通じて、世界の成長企業に投資を行い、信託財産の長期的な成長を図ることを目的に運用を行います。

### ファンドの特色

- 1 世界の株式に投資することで、日本以外の魅力的な投資機会も捉えることを目指します。
- 2 長期の資産形成を目指して、長期視点で世界の成長企業(クオリティ・グロース企業)の株式に投資を行います。
- 3 多面的な調査を行った上で、長期的に成長が期待される企業に投資をするアクティブファンドに、割安と考えられるタイミングで投資を行うことを目指します。
- 4 原則として、為替ヘッジは行いません。

### ファンドの仕組み

当ファンドは、主にマザーファンドに投資するファミリーファンド方式で運用を行います。

また、マザーファンドを通じて複数の投資信託証券(投資対象ファンド)に投資するファンド・オブ・ファンズ形式で運用を行います。

※ マザーファンドを通じて内外の投資対象ファンドに投資を行い、実質的に世界の株式等に投資を行います。

### 分配方針

毎決算時(原則として毎年4月24日。ただし、休業日の場合は翌営業日。)に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。

- ・ 分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。
  - ・ 分配金額は委託者が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。
  - ・ 留保益の運用については特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。
- ※ 将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

## ●投資リスク

### 基準価額の変動要因

- ・ ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、**投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。**
- ・ **信託財産に生じた利益および損失は、全て投資者の皆さまに帰属します。**
- ・ 投資信託は預貯金と異なります。

ファンドの主なリスクは以下の通りです。

#### ● 価格変動リスク

株式の価格は発行者の業績、経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化や国内外の経済情勢等により変動します。また、債券の価格は市場金利や信用度等の変動を受けて変動します。ファンドはその影響を受け、組入株式や組入債券の価格の下落は基準価額の下落要因となります。

#### ● 信用リスク

組入有価証券等の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等には、当該組入有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払い・償還金の支払いが滞ることがあります。

#### ● 為替変動リスク

為替相場は、各国の経済状況、政治情勢等の様々な要因により変動します。投資先の通貨に対して円高となった場合には、基準価額の下落要因となります。

#### ● カントリーリスク

主要投資対象ファンドの投資対象国において、政治・経済情勢の変化、外国為替規制、資本規制、税制の変更等の事態が生じた場合、またはそれが予想される場合には、方針に沿った運用が困難になり、基準価額の下落要因となる可能性があります。

#### ● 流動性リスク

有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない、または取引が不可能となるリスクのことを流動性リスクといい、当ファンドはそのリスクを伴います。

※ 基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。



### 収益分配金に関する留意点

- ・ 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- ・ 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- ・ 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

### その他の留意点

- ・ ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- ・ ファンドは、大量の解約が発生し、短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受付が中止となる可能性、換金代金の支払いが遅延する可能性があります。
- ・ 一般的に、時価総額が小さい、取引量が少ない等流動性が低い市場、あるいは取引規制等の理由から流動性が低下している市場で有価証券等を売買する場合、市場の実勢と大きく乖離した水準で取引されることがあり、その結果、基準価額の下落の要因となる場合があります。

### リスクの管理体制

委託会社では、リスク管理規程や運用モニタリング規程等の社内規程において、リスク管理の対象となるリスク、リスク管理体制および管理方法等が定められています。

- ・ 委託会社は受託者責任を常に念頭に置いたうえで、投資信託の「投資リスク」を適切に管理するため、①運用部門において、投資信託の各種リスクを把握しつつ、投資信託のコンセプトに沿ったリスクの範囲内で運用を行うこと、②運用部門から独立した管理部署によりモニタリング等のリスク管理を行うこと、を基本の考え方として、リスク管理体制を構築しています。
- ・ 委託会社では、流動性リスク管理に関して、投資信託の組入資産の流動性リスクのモニタリング等を実施するとともに、緊急時対応策の策定・検証等を行います。委託会社の取締役会等では、流動性リスク管理を含めた実効的なリスク管理体制の整備、運用について監督します。

## ● 手続・手数料等

### お申込みメモ

購入単位	販売会社が定める単位とします。 ※ 詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌々営業日の基準価額(1万口当たり)とします。
換金単位	販売会社が定める単位とします。 ※ 詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金申込受付日の翌々営業日の基準価額とします。
信託期間	無期限(2024年4月25日設定)
繰上償還	委託会社は次のいずれかの場合には、繰上償還することがあります。 <ul style="list-style-type: none"><li>・ 純資産総額が10億円を下回ることとなった場合。</li><li>・ 信託契約を解約することが投資者(受益者)のため有利であると認めるとき。</li><li>・ やむを得ない事情が発生したとき。</li></ul>
決算日	原則として、毎年4月24日とします。(休業日の場合は翌営業日) 第1決算日は2025年4月24日とします。
収益分配	原則として、年1回の決算時に収益分配方針に基づいて分配を行います。 ※ 販売会社との契約によっては再投資が可能です。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
課税関係	課税上は株式投資信託として取り扱われます。 <ul style="list-style-type: none"><li>・ 公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合にNISA(少額投資非課税制度)の適用対象となります。</li><li>・ 当ファンドは、NISAの「成長投資枠」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。</li><li>・ 配当控除の適用はありません。</li><li>・ 益金不算入制度は適用されません。</li></ul>



## ファンドの費用・税金

### ●ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

- ・ 購入時手数料 **ありません。**
- ・ 信託財産留保額 **ありません。**

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬)	当ファンド	信託報酬の総額は、計算期間を通じて毎日、ファンドの純資産総額に対して、 <b>年率0.605%(税抜0.55%)</b> を乗じて得た額とします。運用管理費用は、日々計上され、毎計算期間の最初の6ヵ月終了日および毎計算期末または信託終了のときに、信託財産から支払われます。
	投資対象ファンド	<b>年率0.4%～0.9%程度(税抜)</b> ※運用・管理報酬等の料率は投資対象ファンドにより異なります。
	実質的な負担	<b>年率1.3%±0.2%程度(税込)</b> ※投資対象ファンドの組入比率の変更などにより変動します。
その他の費用・手数料	監査費用、租税、信託事務の処理に要する諸費用等。監査費用を除くその他の費用・手数料は、その都度信託財産から支払われます。 ※これらの費用・手数料等については運用状況等により変動するものであり、事前に料率・上限額等を示すことができません。	

※ 投資者の皆様にご負担いただく手数料等の合計額については、保有期間や運用の状況などに応じて異なりますので、表示することはできません。

### ●税金

税金は表に記載の時期に適用されます。

以下の表は、個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。

時期	項目	税金
分配時	所得税および地方税	配当所得として課税 普通分配金に対して20.315%
換金(解約)時 および償還時	所得税および地方税	譲渡所得として課税 換金(解約)時および償還時の差益(譲渡益)に対して20.315%

※ 少額投資非課税制度「愛称：NISA(ニーサ)」をご利用の場合

NISAは、少額上場株式等に関する非課税制度です。

NISAをご利用の場合、一定の額を上限として、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が無期限で非課税となります。ご利用になれるのは、販売会社で非課税口座を開設し、税法上の要件を満たした商品を購入するなど、一定の条件に該当する方が対象となります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

※ 外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

※ 法人の場合は上記と異なります。

※ 上記は、2024年2月末現在のものです。税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

## ●委託会社およびファンドの関係法人

委託会社 ファンドの運用の指図を行う者	なかのアセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第3406号 加入協会：一般社団法人投資信託協会 ホームページアドレス： <a href="https://nakano-am.co.jp/">https://nakano-am.co.jp/</a>
受託会社 ファンドの財産の保管および管理を行う者	野村信託銀行株式会社

販売会社 ファンドの募集の取扱い等を行う者	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品取引業協会
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○
第一生命保険株式会社	登録金融機関 関東財務局長(登金)第657号	○	○		
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	○
株式会社イオン銀行(委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関 関東財務局長(登金)第633号	○			
株式会社SBI新生銀行(委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関 関東財務局長(登金)第10号	○		○	
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第61号	○	○	○	○
株式会社北國銀行	登録金融機関 北陸財務局長(登金)第5号	○		○	

## ●当資料をご利用にあたっての注意事項等

- ・ 当資料はなかのアセットマネジメント株式会社が作成した資料であり、法令に基づく開示書類ではありません。
- ・ ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。
- ・ 信託財産に生じた利益および損失は、全て投資者の皆さまに帰属します。
- ・ 当資料は、なかのアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その内容の完全性、正確性を保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- ・ 投資信託は預金または保険契約ではないため、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。登録金融機関で購入いただいた場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
- ・ 本資料で使用している指数等に係る著作権等の知的財産権、その他一切の権利は、当該指数等の開発元または公表元に帰属します。